

所長のひとこと

所長 大津 邦彦

インフルエンザのワクチン不足

昨シーズンは、全国的にインフルエンザがほとんど流行しなかった。理由は、マスクの着用や手指消毒、ソーシャルディスタンスを多くの人が守ったことによるといわれている。ある意味コロナウイルスにインフルエンザウイルスが駆逐？された結果となる。では今シーズンはどうなるか。まだわからない。コロナウイルスが流行の下火を迎え、かつての賑わいを取り戻しつつあることが危惧される点だ。ただマスクの着用や手指の消毒等は多くの人が続けていることから結果はどうなるか。専門家の中には、今年はインフルエンザが大流行するという人もいる。なぜなら昨年流行しなかったことで日本人に抗体がほとんどない人が多くいることによるという。そのような中で今年は、インフルエンザワクチンの不足が言われている。コロナウイルスの対策に追われ、ワクチン製造が間に合わなかったことや昨年インフルエンザが流行しなかったことで、ワクチン製造に必要な材料の不足が原因と言われる。当法人でも昨年と同様のワクチン数が確保できない見込みとなってきており、希望者全員に接種できるか不安が残る。当面は施設利用者を優先し、職員は残数があれば接種する予定で進めることとする。今期は、マスクの着用と手指の消毒にできる範囲でご協力を！

社会福祉法人ひばり

ハラスメント対策委員会 発足

2015年12月 電通の女性社員が自殺した。月の残業時間が130時間を超える労働とパワハラやセクハラもあったとされる事件がきっかけとなり、働き方改革やハラスメントの防止が重要課題と認識されはじめたといえる。昨今では、相手が嫌がる行為は、すべてハラスメントと言われるようになった感があり、〇〇ハラスメントも増え続けている。

ハラスメントと言えば、セクハラやパワハラが代表的であり、前期の事件にも大きな影を落とす。事件を受け労働関連法が改正され2020年6月から（中小事業所は2022年4月）職場におけるハラスメント（主にパワハラ）の防止が義務付けられた。

当法人でも、議論を重ね本年9月からハラスメント防止に向け、ハラスメント対策ガイドライン（ホームページトップ参照）を作成し、併せて対策委員会を発足させ活動を開始した。

いずれにしても職員ひとり一人を守ることが法人を守ることもつながるためハラスメントが発生しない職場づくり、発生したら速やかに対応する組織づくりに力を入れていきたいと考えている。良い働く環境は良いサービスになると考えている。 （大津）

委員長挨拶

2022年4月より、「ハラスメント防止措置」が中小事業主は義務化となるため、当法人では『ハラスメント対策推進委員会』が7月に発足し、委員長を務めさせて頂くことになりました、内海と申します。

私自身、ハラスメントに対する知識が乏しく、今後はハラスメント対策推進委員を中心に職員の方々と共に、ガイドラインを元に、知識を深め各々の立場を尊重し、ハラスメントが起こらない職場環境を整えられるよう努めてまいりたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

ハートピア湘南 内海

社会福祉法人ひばり

虐待防止委員会 発足 委員長挨拶

こんにちは、このたび、初代委員長を務めることになりました 湘南むぎばたけ の岸本です。よろしくお願い致します。

うちにはまだ、クレヨンしんちゃんと同じ5歳になったばかりの子供たちがいます。夜はお風呂の後の着替えに、歯磨きの仕上げ、朝は保育園の準備にと（朝はぎりぎりまで寝ている私なので、大体、嫁さんがやってくれるのですが）、時にはこちらの都合はお構いなしに言ったことをしてくれない子供とのやりとり、つい苛立ってしまことが日常茶飯事です（笑）。今朝も、用事があったいつもより早く家を出発したかった時に、なかなか靴下を履かず、車の席にも座らない子供たちに、思わず「遅刻するだろっ！」とついつい感情的に言ってしまいました。すると背後から『遅刻するじゃないよ！』と嫁さんからの言葉がチクリ・・・それに固まる私（ぶるぶる）、子供からも『とうちゃん、怒らないで！』の訴え（うるうる）、我に返る私・・・子供なりにとうちゃんと保育園に行きたいと行動してくれていたのに、自分都合について感情的になり過ぎてしまったことに“ごめんね”しました。

こんな、まだまだ未熟な私ではありますが、委員長としてできるかぎり上手く委員会の舵取りをしていきたいと思っております。

※次号は、2022年1月 予定